

市では、市税などの市に入ってくるお金（歳入）と、そのお金のつかいみち（歳出）を計画して1年間の予算をつくります。そして、その予算に基づいて、さまざまな事業を行っています。皆さんが納めた税などがどのように使われたのか、平成19年度の決算の状況をお知らせします。



市の会計は3種類

一般会計

福祉や教育、道路整備など、基本的な経費が中心となっている会計。市民の皆さんが納める税金や国からの地方交付税などの収入でまかなわれています。

特別会計

保険料など、特定の収入がある会計。つかいみちが決まっています。収支を明らかにするために、一般会計とは別にしています。

公営企業会計

一般の会社と同じように、独自の収入で経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計。水道や下水道、病院の事業がこれにあたります。

一般会計の決算額は、歳入460億7,484万円、歳出458億7,730万円で、差し引き1億9,754万円の黒字となっています。このうち翌年度へ繰り越した事業に充てるための財源2,177万円を除いた実質的な収支では、1億7,577万円の黒字となりました。

一般会計

一般会計 歳入

平成19年度に市に入ってきたお金

歳入決算 460億7,484万円

種別	決算額	構成割合	決算のおもな内訳
① 諸収入	149億5,775万円	32.5%	○土地開発公社貸付金の返済(137億740万円)※ ○中小企業貸付金の返済(5億9,177万円)
② 市税	142億6,651万円	31.0%	○固定資産税・都市計画税(73億9,574万円) ○市民税(59億3,702万円) ○市たばこ税(7億9,499万円)
③ 国・道支出金	59億7,333万円	13.0%	○生活保護の扶助費(12億842万円) ○C経路の道路整備(4億2,157万円) ○北栄団地の建替(3億4,271万円)
④ 地方交付税	33億8,985万円	7.3%	○全国のまちで行政サービスに差が出ないようにするための国の交付金
⑤ 地方譲与税・交付金	29億5,359万円	6.4%	○消費税の分配金(10億5,558万円) ○国の防衛施設があるまちへの助成交付金(6億1,513万円)
⑥ 市債	24億8,345万円	5.4%	○公共施設整備用の借り入れ(16億7,940万円) ○地方交付税の不足分穴埋めのための借り入れ(8億405万円)
⑦ そのほか	20億5,036万円	4.4%	○基金の取崩や貸付を受けたお金(3億1,707万円) ○使用料・手数料(11億1,387万円) ○市有財産の貸付・売払(2億3,336万円)
合計	460億7,484万円	100.0%	-

※諸収入のうち土地開発公社からの返済は、公社への貸付金（左の表の歳出の①諸支出金）の返済金です。

平成 19 年度のおもな事業と決算額

子育て総合支援センターの整備
5 億 9,945 万円



北栄団地の公営住宅建替
8 億 4,132 万円



指宿公園の整備
1 億 2,873 万円



C 経路の道路整備
4 億 4,160 万円



北陽小の増築
2 億 1,613 万円



救急工作車の購入
7,772 万円



一般会計
歳出

平成 19 年度のお金のつかいみち

歳出決算 458 億 7,730 万円

種別	決算額	構成割合	決算のおもな内訳
① 諸支出金 (34.7%)	159 億 1,788 万円	34.7%	○土地開発公社への貸付 (136 億 7,373 万円) ○企業会計への繰り出し (21 億 3,526 万円) ○児童福祉 (25 億 9,370 万円) ○生活保護 (15 億 2,602 万円)
② 民生費 (16.8%)	77 億 974 万円	16.8%	○国保・介護保険への繰り出し (12 億 4,517 万円) ○障がい者支援 (11 億 5,088 万円) ○高齢者福祉 (8 億 3,348 万円)
③ 職員費 (14.1%)	64 億 5,327 万円	14.1%	○職員の人件費
④ 土木費 (9.2%)	42 億 694 万円	9.2%	○道路の整備・管理 (18 億 5,958 万円) ○公園の整備・管理 (11 億 4,494 万円) ○市営住宅の建設・管理 (10 億 8,068 万円)
⑤ 公債費 (8.1%)	37 億 3,701 万円	8.1%	○道路や公園などをつくるために過去に借りたお金の返済
⑥ 教育費 (6.2%)	28 億 4,495 万円	6.2%	○スポーツや社会教育の振興 (12 億 7,506 万円) ○小中学校の運営・管理 (12 億 4,962 万円)
⑦ そのほか (10.9%)	50 億 751 万円	10.9%	○ごみの処理 (9 億 1,047 万円) ○商業や工業の振興 (7 億 7,656 万円) ○農林水産業の振興 (4 億 8,024 万円) ○議会の運営 (2 億 2,652 万円)
合計	458 億 7,730 万円	100.0%	-

歳入歳出決算

種 別	歳 入	歳 出	差 引
国民健康保険特別会計 国民健康保険事業を運営するための会計	86 億 1,875 万円	85 億 1,276 万円	1 億 599 万円
土地取得事業特別会計 公共施設用地をあらかじめ取得するための会計	4,535 万円	4,496 万円	39 万円
公設地方卸売市場事業特別会計 公設地方卸売市場を運営するための会計	3,769 万円	3,754 万円	15 万円
老人保健特別会計 75 歳以上の方などの医療保険制度のための会計	69 億 4,073 万円	67 億 5,616 万円	1 億 8,457 万円
霊園事業特別会計 霊園の用地取得や管理運営のための会計	4,683 万円	4,669 万円	14 万円
介護保険特別会計 介護保険事業を運営するための会計	27 億 6,633 万円	26 億 9,142 万円	7,491 万円
合 計	184 億 5,568 万円	180 億 8,953 万円	3 億 6,615 万円

特別会計

特別会計とは、保険料や使用料など税金以外の特定の収入がある会計をいいます。収入のつかいみちが分かっていて、収支を明らかにするために、一般会計と分けています。市には左の表のとおり6つの特別会計があり、予算の範囲内でそれぞれの事業をやりくりしています。

公営企業会計

一般の会社と同じように、独自の収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計です。市には、「水道事業」や「下水道事業」、「病院事業」の3つの公営企業会計があります。

収益的収支

1年間の事業活動により得られる収益と費用を損益計算の形で表すもの。会社の経営成績

資本的収支

1年間に支出した施設の建設経費（施設建設のための借金の返済などを含む）とその財源となる収入

病院事業



【業務の状況】

市民病院

入院 59,548 人 (162.7 人 / 日)
前年度に比べて 622 人、1 日平均 2.1 人減少しました。

外来 172,446 人 (706.7 人 / 日)
前年度に比べて 10,129 人、1 日平均 41.6 人減少しました。

泉郷診療所

外来 3,371 人 (23.4 人 / 日)
前年度に比べて 64 人、1 日平均 0.3 人減少しました。

支笏湖診療所

外来 952 人 (3.9 人 / 日)
前年度に比べて 41 人、1 日平均 0.2 人増加しました。

【決算の状況】

収益的収支の決算

収入 48 億 7,208 万円
支出 52 億 4,534 万円

資本的収支の決算

収入 4 億 677 万円
支出 10 億 4,681 万円

下水道事業



【業務の状況】

排水戸数 36,702 戸
市が下水道の処理をしている建築物の戸数。前年度に比べて 508 戸増加しています。

総処理水量 18,870,801 m³
市が下水道で処理した汚水の総水量。前年度に比べて約 8% 減少しました。

有収水量 14,346,574 m³
総処理水量のうち、料金収入が得られる水量。前年度よりやや増えました。

有収率 76.03%
下水道の総処理水量のうち有収水量の割合で高いほど良好な指標。前年度より 6.15% 上昇しました。

【決算の状況】

収益的収支の決算

収入 26 億 2,930 万円
支出 25 億 8,210 万円

資本的収支の決算

収入 21 億 6,763 万円
支出 32 億 5,706 万円

水道事業



【業務の状況】

給水人口 91,764 人
市が水道で飲料水を供給している人の数。前年度に比べて 209 人増加しています。

総配水量 12,163,501 m³
飲料水として浄水場から送り出された総水量。前年度に比べて約 0.2% 増えています。

有収水量 11,388,165 m³
総配水量のうち、料金収入が得られる水量。前年度に比べて約 0.2% 増えています。

有収率 93.63%
水道の総配水量のうち有収水量の割合で高いほど良好な指標。前年度とほぼ同じ率でした。

【決算の状況】

収益的収支の決算

収入 17 億 547 万円
支出 16 億 1,972 万円

資本的収支の決算

収入 7 億 4,966 万円
支出 14 億 5,442 万円

まちの
財産

市は、市政を進めていくうえで必要な財産を保有し、目的に応じて効率的な運用をしています。財産には、公園や学校などの土地や建物をはじめ基金や証券などがあります。

土地 1,432万5,372㎡
建物 45万1,963㎡

土地と建物

財産区分	土地	建物
行政財産	1,172万2,021㎡	43万5,759㎡
公用財産	141万9,901㎡	4万5,621㎡
公共用財産	1,030万2,120㎡	39万138㎡
普通財産	260万3,351㎡	1万6,204㎡
合計	1,432万5,372㎡	45万1,963㎡

「公用財産」：市役所など市が直接使用する財産

「公共用財産」：学校、公園など市民が使用する財産

「普通財産」：公用財産・公共用財産以外の財産

有価証券（株券や債権など）

32億9,797万円

出資による権利（法人への資本金出資など）

4億6,169万円

基金（まちの貯金）

84億8,424万円

基金とは

市は、現在、財産の維持、資金の積み立てや資金の運用のために、目的別に15の基金を設けています。

- 財政調整基金 ○農業振興基金 ○奨学基金
- 公共施設整備基金 ○国民健康保険事業財政調整基金
- 土地開発基金 ○みんなで、ひと・まちづくり基金
- 減債基金 ○地域福祉振興基金 ○霊園管理基金
- ふるさと千歳国際交流基金 ○職員退職手当基金
- 介護保険事業給付費準備基金 ○特定地域振興基金
- 心のふるさと千歳基金

学校や公園などの施設の建設には、多額の経費がかかりますので、国や銀行などからお金を借りています。借り入れたお金の返済を通じて将来の利用者にも公平に負担していただいています。

まちの
借金

総額 677億9,961万円
市民一人あたり 74万円

市が借りているお金（市債）の状況

一般会計の借入	351億5,642万円
特別会計の借入	5億140万円
公営企業会計の借入	321億4,179万円
合計	677億9,961万円

たとえば市民一人あたりでは・・・

納めていただいた市税



市民税

64,520円



固定資産税・都市計画税

80,373円

使われたお金



高齢者や障がいのある方のために（民生費）

83,786円



道路の整備や維持などに（土木費）

45,719円

※この金額の基礎数値となる人口は、92,017人（平成20年3月31日現在）です。

総務部
財政課財政係

☎(24) 0541

記事の
お問い合わせは

今後とも行政内部の経費や借入金（市債）を減らすなど健全な財政運営を進めたいと考えています。市の財政について、ご理解とご協力をお願いします。

とも厳しい状況が見込まれます。収入の大幅な増加が見込めず、歳入歳出に悪化する情勢で、この影響を受け市税

あるといえます。しかし、平成20年度は国内景気が急速に悪化する情勢で、この影響を受け市税収入の大幅な増加が見込めず、歳入歳出とも厳しい状況が見込まれます。

これは、平成14年度から取り組んでいる財政健全化対策の成果が着実に現れており、広報ちとせ11月号の特集「わがまちの家計は大丈夫？」でもお知らせしたとおり、千歳市の財政は、健全な状況であるといえます。

平成19年度の決算は、一般会計では経費の節減、業務の見直しなどで、収支不足として予定していた基金からの繰り入れをすることなく決算をし、また、各特別会計についても黒字決算となっています。